



足湯に浸かる近所の方と談笑する西村福祉委員(左)

普段の暮らしの中でできる 福祉委員活動を

湯原温泉1区自治会の福祉委員の西村 茂さん^{にしむら しげる}にお話を伺いました。

●福祉委員となって

私は平成19年にこの地域の福祉委員となり、現在15年目となりました。

昔から地元で商店を営んでいることや、コミュニティの会長も務めていることもあり、ご近所の皆さんの顔は全てわかります。

●湯原温泉地域ならではの活動

この地区には共同の浴場(温泉)があり、私を含め地域の皆さんが毎日お風呂に入りに来られます。お風呂に入りながら皆さんとお話をしていると、普段のご近所の情報が入ってきます。

この温泉街には昔から住んでいる方が多く、コミュニティ活動の中でお互いが顔なじみとなっており、普段からご近所同士で気にかけてあって暮らしています。

●活動時に心がけていること

こちらから積極的にみなさんへ声かけ・あいさつをしています。心配ごとや不安なことがあっても声をかけられない方もいるので、私から声をかけるように心がけています。

2日以上顔を見かけないような方がいたら、安否確認にお宅へ訪問することもあります。

以前、ひとり暮らしの高齢者のお宅へ訪問した際、体調が優れず動けない方がおられました。救急車を呼ぶほどの状態ではなかったので、社協へ連絡して対応していただきました。

●福祉委員活動への思い

今は自分もまだ若く元気なので、お世話ができる時に力になれたらと思い活動しています。自分に手助けが必要になる時が来たら、次の世代の方が助けてくれるように活動をつなぐことができればと思っています。



広報誌を配りながらの見守り活動

←次項関連記事

地域の身近な見守り役

福祉委員の活動

福祉委員活動は、身近な地域の福祉活動を支えるボランティア活動です。市内の福祉委員は838名で、地区社協や民生委員・児童委員、真庭市社協と協力し、『見守り・たすけあいネットワーク』（図1参照）の一員として活動に取り組んでいます。

地域での見守りや声かけは、困りごとに早く気づき、必要な支援につなぐことができる大切な活動です。コロナ禍でも地域のつながりが維持できるよう、活動を進めています。

選出方法

- ・自治会長に「福祉活動に熱意のある方」を選出いただき、社協会長が委嘱し活動をお願いしています。
- ・自治会から原則1名以上の選出と任期2年をお願いしています。

役割

- ・地域の身近な **見守り役**
- ・困りごとに気づく **アンテナ役**
- ・困りごとを社協や民生委員・児童委員など関係機関につなぐ **パイプ役**

活動内容

★困りごとの発見、情報の伝達・共有

自治会内で困っている方を早期に発見し、困りごとを社協や民生委員・児童委員などの関係機関に相談し、つなぎます。



★日常的な見守り・たすけあい活動

一人暮らしや障がいのある方、子育て世帯など、援助を必要としている方が、地域で安心して生活できるように、見守り活動や助けあい活動を行います。



★福祉に関する情報提供

社協だよりの配布や地区社協が実施する福祉行事などの情報を地域の方に提供します。「福祉委員からのお知らせ」（回覧版）や声かけにより情報提供を行います。



★地域福祉活動への参加・協力

助けあい会議や座談会への参加をはじめ、ふれあい・いきいきサロンや地区社協活動などへの参加・協力を行います。



福祉活動の財源となる社協会費や共同募金など、社協活動への協力をお願いしています。

福祉委員を交代される方へ
（引継ぎのお願い）

見守り活動など福祉委員の活動は、継続されることが大切です。次期福祉委員へ活動内容と次のファイルを渡していただき、見守り活動などの引継ぎをお願いします。

- ・福祉委員〈活動の手引き〉
- ・福祉委員からのお知らせ（回覧版）



＊「地域助けあい事業活動報告書」をお持ちの方は、社協へご返却ください。

（図1）見守り・たすけあいネットワーク



善意銀行だより

皆さまの善意が福祉活動に活かされています

※真庭市社協への個人からの寄付は税額控除対象となります。

【敬称略・受付順】

寄付金 一月三十一日

合計 五十二万五千元

〔本所〕

村松 洋和（台金屋 香典返し）
 締次 直代（久世 香典返し）
 榎 正史（久世 香典返し）
 山本 耀子（久世 香典返し）
 永田 学（檜東 偲び草）
 亡庄司 光子

山本 千秋（久世 香典返し）
 西本 政和（三崎 香典返し）
 亡水澤 信重

水澤 明（余野上 香典返し）
 水澤 明（余野上 香典返し）
 猪頭 節男（目木 忌明け）

〔北房支所〕

池本 浩治（上中津井 見舞返し）
 高野 達也（下中津井 香典返し）
 葛上 和夫（上水田 香典返し）
 谷本 友輝（上水田 香典返し）
 谷本 友輝（上水田 忌明け）
 坂本 憲治（上水田 忌明け）
 平田 忠（下皆部 忌明け）
 小田 正克（上水田 香典返し）

〔落合支所〕

神尾 健一（大庭 香典返し）
 牧 清（田原山 忌明け）
 林 曲子（関 香典返し）
 難波 達夫（落合垂水 香典返し）
 竹中 義隆（関 香典返し）

市場 和美（栗原 香典返し）
 金澤 寛（下 香典返し）
 谷口 正城（下 香典返し）
 北垣 雅久（中河内 香典返し）
 石田 孝（西河内 香典返し）
 井田 文子（田原山 香典返し）

〔勝山支所〕

岡本 勇人（山久世 香典返し）
 石原 聡一（本郷 忌明け）
 岡田 知宣（組 香典返し）
 岡 延子（月田 香典返し）
 中島 寛重（月田 香典返し）
 山根 眞一（正吉 香典返し）
 樋口 善敏（見尾 香典返し）
 赤岩 祐輔（神代 香典返し）

〔湯原支所〕

谷田 清徳（見明戸 香典返し）
 谷田 清徳（見明戸 香典返し）
 池田 敦子（森山下 香典返し）

〔八束支所〕

池田 敦子（森山下 香典返し）
 前田 茂美（森山下 香典返し）
 池田 徹（森山上 香典返し）
 池田 徹（森山上 香典返し）
 多田 治（森山下 忌明け）

〔川上支所〕

池田 徹（森山上 香典返し）
 池田 徹（森山上 香典返し）
 多田 治（森山下 忌明け）

善意銀行へ「寄付をいただきました。ありがとうございます。」
 社会福祉協議会の行う社会福祉事業へ活用させていただきます。



実績報告 赤い羽根共同募金

共同募金(一般募金) 5,992,149円

地域歳末たすけあい募金 2,974,057円



蒜山での募金活動の様子

赤い羽根共同募金に温かいご支援とご協力をいただきありがとうございました。

皆様から寄せられた募金は、市内の様々な地域福祉活動に役立てられます。ふれあい・いきいきサロン活動助成、小・中・高等学校で行われる福祉学習、子育てを応援する活動など有効に活用させていただきます。

心配ごと相談所(3月の予定)

※相談無料、予約不要です。

北房(真庭市役所北房振興局)	24日(木)	9時～12時
落合(落合老人福祉センター)	10日(木)	
久世(真庭市役所本庁舎)	23日(水)	
勝山(勝山文化センター)	4日(金)	
湯原(湯原保健福祉センター)	17日(木)	
中和(中和デイサービスセンター)	11日(金)	
八束(八束老人福祉センター)	4日(金)	

※秘密は固く守られます。電話 (0867) 42-1005
 FAX (0867) 42-2263



ボランティア活動保険のご案内

「ボランティア活動保険」は、日本国内でのボランティア活動中のケガや損害賠償を補償する保険です。

■年間保険料(令和4年度1名あたり)

「基本プラン」	350円
「天災・地震補償プラン」	500円
「特定感染症重点プラン」	550円

■補償期間

令和4年4月1日～令和5年3月31日

■相談・加入申込

社協本所・各支所で随時受け付けています。補償内容などについて、詳しくは最寄りの社協にお問い合わせください。

福祉の相談窓口

「ふくし巡回相談」を行っています!

北房地域から
こんにちは!

松岡聡子専門員

社協では、皆さんが気軽に困りごとを相談できるように、福祉の相談窓口として「ふくし巡回相談」を実施しています。福祉活動専門員がサロンなどの地域活動に参加して、福祉の相談を受けたり情報提供を行ったりしています。

2月3日(木)、ささえあいデイサービス「なずなテラス(北房・上水田)^{かみみずた}」でふくし巡回相談を実施し、福祉の情報提供として「地域助けあい事業」を紹介しました。

この事業は、定期的な見守り訪問やちょっとした困りごとを抱えている世帯に地域の方の力をお借りしてお手伝いするサービスです。参加者は「知り合いに紹介してみようかな」と興味を持って聞かれていました。

今後も皆さんと信頼関係を築けるよう、地

域の活動に参加させていただきます。

訪問活動にも取り組んでいますので、困りごとや心配なことなど皆さん気軽にお声かけ下さい。



巡回相談の様子

最高齢94歳の方を含め10名が参加していました!

草加部小学校で
車イス体験講座を開催!

1月17日(月)、草加部小学校(久世)で5、6年生14名を対象に、車イス体験講座を開催しました。

児童は、段差や坂道、スロープ、トイレなどを車イスで移動したり、友達同士で介助をし合ったり、車イスのある生活を体験しました。

体験を通して、段差や坂道などを一人で上る大変さや難しさについて学び、困っている人を見かけたら、声をかけて助けたいという思いやりの大切さを考える機会となりました。

体験を終えた児童からは、「段差で車イスを持ち上げる時、不安に感じた。声をかけながらゆっくり押してもらいたい」「困っていたら手伝ってもらいたい。自分も困っている人がいたら積極的に助けたい」という感想が聞けました。

社協は、学校や地域で福祉体験講座を実施し、福祉の学びをサポートします。最寄りの社協へお気軽にご相談ください。



バリアフリートイレで車イス移動する児童

広報担当の
つぶやき

3月21日は春分の日です。この日は「自然をたたえ、生物を大切にする日」とも言われています。私も真庭の豊かな自然のなかで春を探してみたいと思います。



真庭市社協HP